

4 高等学校 芸術科 (美術) 問題用紙

(3枚のうち1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

1 次の1～3に答えなさい。

1 次の(1)～(6)は、日本と西洋の建造物を示したものです。(1)～(6)に当たる最も適切な建築様式を、それぞれ下の(ア)～(ク)の中から選び、その記号を書きなさい。

(1)

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(2)

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(3)

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(4)

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(5)

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(6)

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(ア) 寝殿造	(イ) 権現造	(ウ) 大社造	(エ) 神明造
(オ) ギリシア建築	(カ) ロマネスク建築	(キ) バロック建築	(ク) ゴシック建築

2 次の(1)～(3)は、美術に関する用語です。これらの用語は、それぞれどのようなことを表していますか。簡潔に説明しなさい。

(1) 減法混色 (2) 補色 (3) フロッタージュ

3 カメラは精密描写に優れている一方で、撮影の際の工夫次第では、撮影者の意図を反映した様々な描写を行うことができます。この時の工夫として、どのようなものが挙げられますか。簡潔に2つ書きなさい。

4 高等学校 芸術科 (美術) 問題用紙

(3枚のうち2)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

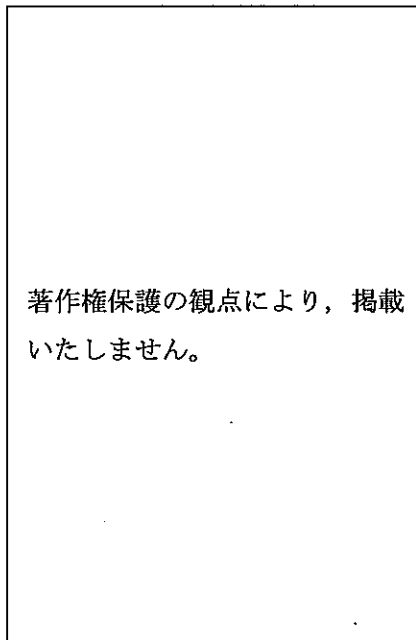
2 「美術 I」において、商品のパッケージデザインを制作をする学習を行うこととします。これに関して、次の1・2に答えなさい。

1 この学習の導入では、客観的な視点をもちデザインすることの大切さを生徒に理解させるために、身の回りにある実例を提示することとします。あなたは、どのような例を提示しますか。実例を1つ挙げ、その実例を選んだ理由を簡潔に書きなさい。

2 生徒に地域の特産物のパッケージを考えさせることとします。「パッケージデザインを考える上で大切なことは何か」を考えさせるために、教師自身があえて問題点が2点あるパッケージデザインを提示することとします。あなたは、どのような作品を生徒に提示しますか。特産物を1つ挙げた上で提示作品を描くとともに、その作品に反映させた2点の問題点を、パッケージデザインが本来果たす役割を踏まえて、簡潔に書きなさい。

3 「美術 I」において、作品の鑑賞を行うこととします。これに関して、次の作品Aを基に、あとの1・2に答えなさい。

作品A



作品名 [六十余州名所図会 伯耆 大野 大山遠望]

1 作品Aに関して、次の浮世絵版画についての文章中の(ア)～(エ)にあてはまる最も適切な語句をそれぞれ書きなさい。

浮世絵版画は、江戸時代に発達した風俗画である。浮世絵版画は、木版で印刷した本の挿絵が、やがて木版画一枚絵の「墨摺絵」として独立したことに始まった。以後、「丹絵」、「漆絵」と進み、紅と緑を主張色とする「紅摺絵」が誕生した。さらに、明和期(1764～1772)になると、多いものでは10色以上もの色版を用いた多色摺の版画が作られるようになり、それらの版画はその美しさから「(ア)」と呼ばれた。浮世絵版画の制作工程は、出版社にあたる版元の制作の指示により、絵師、(イ)、(ウ)が工程を分業で行った。Aの作品は、情緒のある風景描写を得意とした絵師 [(エ) 1797～1858] の作である。

4 高等学校 芸術科 (美術) 問題用紙

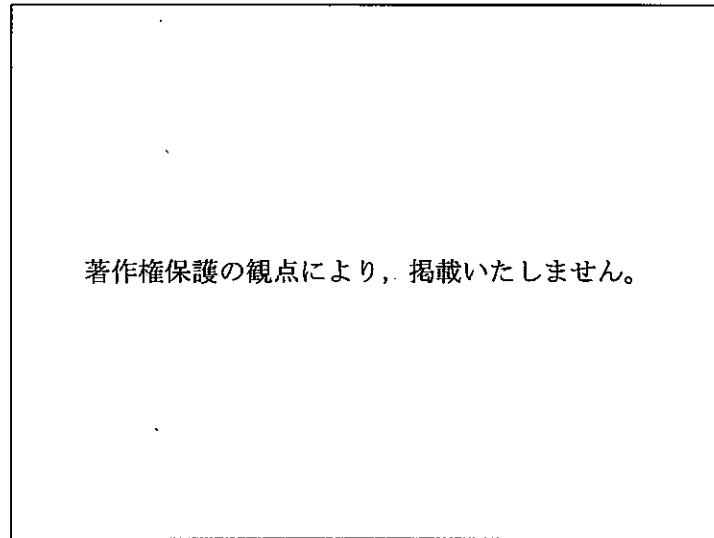
(3枚のうち3)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

- 2 作品Aと、それと同時代にフランスで描かれた作品Bとを比較し、それぞれの作品が描かれた時代背景やこの時代のそれぞれの国の美術文化のよさや美しさを感じ取り、見方や感じ方を深めることができるようにするためには、どのような指導を行いますか。簡潔に2つ書きなさい。

作品B



作品名 [落穂拾い]

作者名 [ジャン=フランソワ・ミレー 1814~1875]

- 4 平成30年3月告示の高等学校学習指導要領 芸術 美術I 内容 A 表現 (1) について、次の文章を基に下の1・2に答えなさい。

(1) 絵画・彫刻

絵画・彫刻に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 感じ取ったことや考えたことなどを基にした発想や構想

(ア) 自然や自己、生活などを見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などから (a) を生成すること。

(イ) 表現形式の特性を生かし、形体や色彩、(b) などについて考え、創造的な表現の構想を練ること。

イ 発想や構想をしたことを基に、創造的に表す技能

(ア) (c) に応じて材料や用具の特性を生かすこと。

(イ) 表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表すこと。

- 1 文章中の(a)～(c)にあてはまる適切な語句をそれぞれ書きなさい。
- 2 文章中の下線部について、主題を追求していくためには、どのようなことが大切ですか。簡潔に2つ書きなさい。

- 5 ロープを持った手を想像し、それを立体感や質感が表れるように、鉛筆で陰影をつけてデッサンしなさい。

4

高等学校 芸術科 (美術) 解答用紙

(4枚のうち1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号		解答欄
1	1	(1)
		(2)
		(3)
		(4)
		(5)
		(6)
	2	(1)
		(2)
		(3)
	3	

4

高等学校 芸術科 (美術) 解答用紙

(4枚のうち2)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号		解答欄	
	1	実例	
		理由	
2		特産物	
		提示作品	
		問題点	

4

高等学校 芸術科 (美術) 解答用紙

(4枚のうち3)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号		解答欄		
3	1	(ア)		
		(イ)		
		(ウ)		
		(エ)		
	2			
	4	1	(a)	
			(b)	
(c)				
2				

4

高等学校 芸術科 (美術) 解答用紙

(4枚のうち4)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号	解答欄
5	